

消防団とは

消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置されている消防機関です。団員は、火災や災害発生時に現場へ駆けつけ、消防職員と共に消火活動や救助活動を行います。

団員は、普段は消防とは別の本業に従事している「非常勤公務員」です。団員には、市町村より年額報酬や出勤手当が支給されます。18歳以上で、市内に居住または勤務しており、健康な方であればどなたでも入団できます。

時に危険な業務を伴う消防団ですが、加入は本人の自発的な意思であることから、ボランティアとしての性質も併せ持っています。

消防団員の主な活動

- ・火災の消火、消防職員の後方支援
- ・地震や風水害など災害時の人命救助・救出、警戒誘導、災害防御
- ・行方不明者の捜索
- ・防災啓発活動
- ・災害対応に関する訓練・研修

国東市消防団 (令和3年4月11日現在)

団長 本田 勝久 団長(平成30年4月1日～)

副団長 木村 英樹 副団長(平成30年4月1日～)

国見方面隊 第1～4分団(147名)

国東方面隊 第5～9分団(282名)

武蔵方面隊 第10～12分団(176名)

安岐方面隊 第14～17分団(233名)

女性消防団 (20名)

消防団は市の防災上とても大きな力になっています

国東市消防団は860名の団員によって構成され、各町を管轄する4つの方面隊を組織して、火災などの災害に備えています。市には、市の消防職員の約10倍の人数の消防団員がおり、市内各所に活動拠点(詰所)があります。

地域の事情に詳しく、日頃の訓練によってすぐに災害に対応できる消防団員が数多くいることは、市の防災上とても大きな力となっています。まさに、消防団はこのまちの安全を守るスーパーヒーローなのです。

国東市消防本部 総務課
消防団係
野上 良興



青とオレンジの服をまとい
このまちを守る
一番身近な市民のヒーロー

近年、全国的に大地震や大水害など、大規模な災害が起きています。そのようなとき、消防職員や市役所職員だけでは、とても被害に対応できません。災害発生時に、地域の災害対応で重要な役割を果たすのが消防団です。消防団を中心とした住民相互の助け合いで人命救助や避難、消火などを行うことにより、地域の被害を最小限に食い止めることができます。

消防団員は、普段は自営業者や会社員などとして、それぞれ本業に就いています。しかし、いざこのまちに災害が発生すると、彼らは青とオレンジの服を身にまとう「スーパーヒーロー」に変身！市民の命と安全を守るため、まちの危機に勇ましく立ち向かいます。

今回の特集は、市民にとって一番身近なヒーロー「消防団」。消防団の活動や、団員の思いをご紹介します。あなたも消防団に入団して、このまちを守るスーパーヒーローになりませんか。